迎春

府職の友
FUSYOKU NO TOMO

2071号　2018年1月1日

発行所／大阪府関係職員労働組合
〒540-0008　大阪市中央区大手前2-1-59
電話　06（6941）0351・内線3740
直通06（6941）3079 FAX06（6941）4541
Eメール info@fusyokuro.gr.jp
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp
発行人／有田　洋明　編集人／小松　康則
（一部10円）組合員の購読料は組合費に含まれています。

No Union No Life

府民のためにいい仕事がしたい

大阪府・関係職場で働く職員は、それぞれの部署で府民が安全に安心してくらせるように、一人ひとりが、府民サービスの向上、利用者が心地よく利用できるようにと日々奮闘しています。
そうした職員の思いを、今回インタビューしました。

地球温暖化や環境汚染改善の仕事に携わりたい

採用1年目　加藤　瞬さん
環境職　環境保全課

●今の仕事はどうですか？
今は、市町村を取りまとめる立場なので、緊張感をもって業務に励めています。環境問題に関係する仕事なので、将来の環境を担う立場としてやりがいを感じています。

●これからやりたい仕事は？
地球温暖化や環境汚染の改善に取り組む仕事に携わりたいと思っています。尊敬できる先輩や上司がいて、職員同士が補完し助け合える職場が理想です。自分でも、自発的に業務に取り組み知識を得ることや、まわりの状況に関心を持って仕事をしたいと思います。

●府職労へひと言
組合は、組合員同士で多様な繋がりを持てたり、イベントに参加できる所が良いです。あとは、給料が上がったことです（笑）

今の職場で府民生活に貢献できる仕事をやりたい

採用1年目　黒木　海任さん
行政職　中央府税事務所

●今の仕事はどうですか？
府税事務所に配属され、業務を進めるにあたって仕事上の権限の強さに驚いています。相手の生活状況等をみながら対応しますが、自分の判断でうまく調整ができた時などやりがいを感じます。

●これからやりたい仕事は？
今の職場で、府民の生活に貢献するような仕事をできることからしていきたいです。そのためにも、お互いにコミュニケーションをしっかりとり、何事も聞きやすい、言いやすい職場が理想だと思います。なので、今の職場は理想的だと思います。

●府職労へひと言
府職労のイベントでさまざまな職場の同世代の方と出会い、親交を深められているのが良いところで、今後もっといろんな方と親交を深めたいと思っています。

地域での課題を発信していきたい

採用1年目　松葉　直人さん
保健師　泉佐野保健所

●今の仕事はどうですか？
自分の支援がうまくいきお礼を言われたときや、関係機関の調整がうまくいったときや、職場でも、感謝されたり認められた時にやりがいを感じ、モチベーションが上がります。記録作成なども、もらった意見や先輩の記録などを参考にしてうまくできるようにしたいです。

●これからやりたい仕事は？
自分の分担している難病や母子のケースの悩みやニーズに応えること、個別支援や事業、データ分析を通して地域での課題を明らかにし、関係機関や医療機関に発信できるようになりたいです。

●府職労へひと言
職場や職種を超えて、さまざまな人に会うことで各職場での仕事の様子や思いがよくわかることが良いところだと思います。

お母さん・赤ちゃんに援助できることにとてもやりがい感じます

採用4年目　松本　雪乃さん
看護師　はびきの医療センター

●今の仕事はどうですか？
はびきの医療センターで実習をしたことをきっかけに就職しました。実際に働いてみて、仕事は厳しく緊張もしますが、チームワークよく楽しく仕事ができています。お母さんとも赤ちゃんとも関わって援助できるので、とてもやりがいを感じています。

●府職労へひと言
組合についてはまだまだ分からないことも、いろいろありますが、いろんな職場の方とこれから交流していきたいと思います。

遊歩道

昨年、大阪府では21年ぶりに人事委員会勧告の完全実施が行われた。また、府立病院機構でも一時金の支給が大阪府に追いつき年間4・4月分に上がった。これらは、当たり前の賃上げをして欲しいとみんなで声をあげた結果だ▼私たちは日頃から「府民の役に立ちたい」との思いで仕事を進めている。その思いが今の大阪府を支えている▼アベノミクスで景気が回復していると言うが、暮らしが豊かになったとの生活実感はない。さらに、社会保障費を抑えるための医療や介護の負担増が私たちの暮らしを圧迫していく。また、政府が進める「働き方改革」は、労働強化と長時間労働の拡大に他ならない▼そんな状況の中で、安倍首相は憲法を改正し「戦争する国づくり」を進めている。日本が安全な国であるのは、戦争をしない国だから世界の人々が安心しているからなのに▼この間の市民の共同は政治の流れを変えたし、核兵器禁止条約の採択などにつながっている。みんなの力で、この流れを変えていこう。憲法を生かして、誰もが人間らしく働き続け、安心して暮らせるように、みんなが笑顔になる社会をつくろう。（ま）